

NPO2 団体と企業 2 社が連携！ NPO フローレンス、石巻沿岸で中高生向け学習室 3 教室目スタート 日本ロレアルとネスレ日本が後援！

特定非営利活動法人フローレンス/特定非営利活動法人JEN
日本ロレアル株式会社/ネスレ日本株式会社
< 報道資料 >
2012 年 3 月 14 日

特定非営利活動法人フローレンス(以下フローレンス、代表理事:駒崎弘樹)は、この度、新たに「希望のゼミ 学習室」を日本ロレアルが建設した鹿妻地区のコミュニティカフェ“HANA 荘”^{はなそう}(敷地:330 m²、建物 80 m²、住所:石巻市鹿妻南 1-9)にて 3 月 24 日(土)より、開講します。

■フローレンスが推進する「希望のゼミ」について

フローレンスが実施している「希望のゼミ」は、東日本大震災によって厳しい環境下におかれた被災地の中学生、高校生の学習や受験を無償でサポートするプロジェクトです。被災や被災以前からの経済ならびに家庭の事情により、塾に行けない、落ち着いて勉強する学習環境がない中高生を対象に、自習スペースとして開放する学習室や、学習相談、通信教育教材の無償提供を行うことで、被災地の中高生の進学・受験を包括的にサポートします。「希望のゼミ」という名称は、被災によって厳しい環境下におかれた中高生たちが将来の夢や進学をあきらめないよう、共に走っていきたいという思いを込めて名づけました。

■HANA荘での「希望のゼミ」の概要

中高生の希望者は下記の時間帯にHANA荘で勉強ができます。被災地での学習指導の経験豊富な教師が常駐し、学習に関する質問や、保護者や生徒からの進路・受験相談などに応じます。春休み期間ならびに一学期終了時(7月)までは、週一回の開講とし、今後ニーズによって、開講日を増やしていく予定です。

場 所: HANA荘
日 時: 3月24日(土)より、週1回(毎週土曜日) 15:00~19:00
対 象: 中学・高校生

■「希望のゼミ」をHANA荘で開講する理由

①地域コミュニティからの期待: HANA荘は、地域の復興・再生を目的に日本ロレアルにより昨年11月に建設され、特定非営利活動法人JENが管理運営しています。開設以来、自治会の会合や地域の人の憩いの場、復興の拠点として地域に定着してきました。日々の活動を通じて、地域の皆さんへのヒアリングを行う中であがってきた課題のうち、期待が高かった声のひとつとして、中高生が学習や進路相談などが自由にできる場の必要性でした。

②震災による教育への懸念: 日本ロレアルが今年2月に実施した今春卒業する中高3年生とその保護者を対象にした調査^{*}では、震災後の影響として、親子共に学習環境や勉強のサポートなど、教育に関する不安が最も多く挙がりました。震災の影響で経済的打撃を受け、塾や進学をあきらめざるを得ない子ども達が増えていることから学習支援の機会を無償提供することになりました。

■HANA 荘での「希望のゼミ」の特徴

- ①企業との複合的連携: 資金、人、企画力を有する企業と、地元地域との連携ノウハウを持っている NPO が協力することによって、地元のニーズに合った継続的な支援など、相乗的な効果を発揮
- ②企業の社員ボランティアの派遣: 日本ロレアルより、教員免許を持つ社員の学習支援や研究員による実験体験教室、自由研究教室など、バラエティに富んだ講座を提供
- ③県内の教育機関との連携: 県内の大学・大学院生によるキャンパスライフや受験体験談セミナーを実施

以上の理由により、フローレンス、日本ロレアルおよび、同主旨に賛同した、受験生を応援しているネスレ日本および、施設の管理運営を行っているJENの協力のもと、HANA荘での「希望のゼミ」を開講します。

*日本ロレアル調査概要：2012年2月10日から12日まで実施。岩手県、宮城県、福島県に在住し、今春卒業を迎える中学3年生、高校3年生とその保護者310人を対象に、卒業への思い、進路、震災前後における家族、地元コミュニティとの関わりや意識の変化に至るまでを調査

HANA 荘について

毎日、午前10時から16時までオープン。地元の方を雇用し、お茶出しなど、ご協力いただいています。地域の集会所として自治会の会合や、地域のイベントなどで活用されており、運営は日本ロレアルが特定非営利活動法人ジェン(JEN)に委託し、JENが実施しています。

フローレンスについて(www.florence.or.jp/)

NPO 法人フローレンス(2004年設立、代表理事:駒崎弘樹)は「子育てと仕事の両立が当たり前の社会」を目指し、子どもが病気の時に保育園に預かってもらえず、働く親の両立の大きな壁となっている「病児保育問題」解決に取り組む団体。非施設型・共済型という日本初の仕組みを構築し、2005年より預かり開始。また、ひとり親家庭の平均収入は一般家庭の約1/3の約230万円、子どもにかかる教育費は約半分と言われ、こうした状況が子どもの高等教育を受ける機会の減少へと繋がっている状況から、2008年より、収入の少ないひとり親家庭の両立を支援すべく寄付会員制度によって全国から寄付を集め、ひとり親向け病児保育サポートを開始。現在150人のひとり親世帯の子どもに病児保育を提供しています。3.11震災後には、被災地の中高生向け無償学習支援「希望のゼミ」のほか、福島の子どもたちが放射能を気にせず遊べる室内公園「ふくしまインドアパーク」(郡山市)の設立、福島からの避難家庭の子どもを一時的に預かる保育サポートを行ない、被災地の子どもの支援にも注力しています。既にイオンモール石巻にある新教育ゼミナール内、宮城県亶理郡の山元町立山下中学校内でも「希望のゼミ 学習室」を展開しており、HANA 荘は3カ所目となります。

日本ロレアルについて (<http://www.nihon-loreal.jp/corp/>)

1963年から事業を開始し、1996年に日本法人である日本ロレアル株式会社が設立されました。2,200人の従業員を擁し、化粧品の輸入、製造、販売、マーケティングを行っています。現在、ランコム、ロレアルパリ、メイベリン ニューヨークなど18のブランドを展開しています。東日本大震災後、長期的に復興支援に取り組むことを目的に、東北復興支援プログラムを推進しています。コミュニティカフェ「HANA 荘」のほか、被災地を巡回する「ビューティーバス」(移動式美容室)によるヘアカットなどの活動を実施しています。また、各ブランドの売上の一部をパートナーNGOと協力のもと、様々な復興支援活動に展開しています。

ネスレ日本について(<http://www.nestle.co.jp/>)

1913年に日本での事業を開始し、来年100周年を迎えます。「ネスカフェ」に代表される飲料、「キットカット」などの菓子、食品、ペットフードなどの製造、販売、マーケティングを行っています。東日本大震災後、義援金や長期に亘る製品の提供などに加えて「キットカット ずんだ風味」を使った支援や「ネスカフェで元気に！プロジェクト」を実施。現在も東北被災地の持続可能な社会・生活を実現するための活動アイデアを支援する「ネスカフェ エコ&システムパックで東北を応援！」キャンペーンと三陸鉄道の復旧を通じて三陸地方の復興を支援する「キット、ずっとプロジェクト」を実施中です。

JEN について(www.jen-npo.org/)

1994年1月に旧ユーゴスラビア地域における緊急支援のために設立。以来、「生きる力、を支えていく。」をモットーに、一貫して、現地の人びとの力を活かした「自立支援」を実施。世界各地で紛争や自然災害などにより厳しい状況にある人びとへ、緊急から復興の各段階できめ細やかな支援活動を行っている。2000年には、NPO 法人格を取得。2005年には「認定特定非営利活動法人(認定NPO)」として認定される。2012年3月現在、アフガニスタン、イラク、スリランカ、パキスタン、南スーダン、ハイチ、石巻で支援活動を継続中。www.jen-npo.org